

令和6年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県	市町村類型	中核市	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)		令和5年度(千円)		区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)
				財政健全化等	×	歳入総額	249,488,154	237,823,569	実質収支比率	3.3	1.1				
市町村名	船橋市	地方交付税種地	1-7	財源超過	×	歳出総額	243,323,649	233,861,063	経常収支比率	97.3	94.8	標準財政規模	131,555,029	127,883,129	
				首都	○	歳入歳出差引	6,164,505	3,962,506	(注1)	(97.9)	(95.9)				
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	1,771,258	2,600,320	財政力指数	0.91	0.92				
				中部	×	実質収支	4,393,247	1,362,186	公債費負担比率	11.5	11.4				
人口	令和2年国調(人)	642,907	産業構造(※5)	過疎	×	単年度収支	3,031,061	-5,232,947	健全化判断比率			実質赤字比率	-	-	
	平成27年国調(人)	622,890		山振	×	積立金	14,341	57	連結実質赤字比率	-	-				
	増減率(%)	3.2		低開発	×	積立金取崩し額	4,000,000	6,500,000	実質公債費比率	3.6	3.7				
住民基本台帳人口(※7)	令和07.01.01(人)	649,393	第1次	うち日本人(人)	625,662	2,258	2,388	指数表選定	○	実質単年度収支	-134,451	-11,558,490	将来負担比率	-	-
	うち日本人(人)	648,331		0.8	0.9	基準財政収入額	94,116,147	92,217,614	資金不足比率(※4)						
	増減率(%)	0.2	第2次	うち日本人(人)	627,063							46,573	48,753	基準財政需要額	104,421,047
	うち日本人(人)	-0.2		233,859	216,249	標準税収入額等	120,390,100	117,843,626							
	面積(km ²)	85.62	82.7	80.9	経常経費充当一般財源等	134,143,369	124,697,599								
	人口密度(人/km ²)	7,509			歳入一般財源等	165,601,199	160,022,698								
世帯数(世帯)	289,916														
職員の状況(※8)															
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	165,088,254	170,880,037	関係する一部事務組合等一覧 組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 団体名	(※3)	
	市区町村長	1	10,760		一般職員	3,795	11,388,795	3,001	うち公的資金	86,197,162	93,080,938				
	副市区町村長	2	8,180		うち消防職員	677	1,970,747	2,911	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	109,520,975	110,628,700				
	教育長	1	7,300		うち技能労務職員	206	679,800	3,300	債務負担行為額(支出予定額)	43,621,719	37,859,288				
	議会議長	1	7,590		教育公務員	152	564,132	3,711	収益事業収入	270,000	240,000				
	議会副議長	1	6,860		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	-	-				
	議会議員	48	6,130		合計	3,947	11,952,927	3,028	財政調整基金	21,068,345	24,113,314				
					ラスパイレシ指数			99.6	積立金現在高	5,680,339	5,284,386				
									減債基金	14,886,871	16,050,764				
									その他特定目的基金						
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧					
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名				
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険事業特別会計	(7)	地方卸売市場事業会計	(10)	船橋駅南口市街地再開発事業特別会計	(11)	千葉県市町村総合事務組合(一般会計)	(19)	船橋市清美公社				
(2)	公共用地先行取得事業特別会計	(5)	介護保険事業特別会計	(8)	病院事業会計			(12)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)	(20)	船橋市福祉サービス公社				
(3)	母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	(6)	後期高齢者医療事業特別会計	(9)	下水道事業会計			(13)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)	(21)	船橋市医療公社				
								(14)	千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)	(22)	船橋市生きがい福祉事業団				
								(15)	四市複合事務組合	(23)	船橋市公園協会				
								(16)	千葉県県民組合	(24)	船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター				
								(17)	千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	(25)	船橋市都市サービス				
								(18)	千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	(26)	東葉高速鉄道(株)				

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	107,706,662	43.2	99,201,640	72.4
地方譲与税	1,102,461	0.4	1,102,461	0.8
利子割交付金	65,017	0.0	65,017	0.0
配当割交付金	1,097,457	0.4	1,097,457	0.8
株式等譲渡所得割交付金	1,647,833	0.7	1,647,833	1.2
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	15,582,352	6.2	15,582,352	11.4
ゴルフ場利用税交付金	3,254	0.0	3,254	0.0
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	205,048	0.1	205,048	0.1
法人事業税交付金	1,222,479	0.5	1,222,479	0.9
地方特例交付金等	3,810,574	1.5	3,810,574	2.8
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	698,733	0.3	698,733	0.5
定額減税減収補填特例交付金	3,108,721	1.2	3,108,721	2.3
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	3,120	0.0	3,120	0.0
地方交付税	10,916,370	4.4	10,304,898	7.5
普通交付税	10,304,898	4.1	10,304,898	7.5
特別交付税	606,266	0.2	-	-
震災復興特別交付税	5,206	0.0	-	-
(一般財源計)	143,359,507	57.5	134,243,013	98.0
交通安全対策特別交付金	47,353	0.0	47,353	0.0
分担金・負担金	1,324,298	0.5	-	-
使用料	2,880,966	1.2	508,390	0.4
手数料	1,544,677	0.6	-	-
国庫支出金	51,032,449	20.5	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	215,239	0.1	215,239	0.2
都道府県支出金	15,685,530	6.3	-	-
財産収入	471,742	0.2	334,625	0.2
寄附金	1,706,015	0.7	-	-
繰入金	5,843,493	2.3	-	-
繰越金	3,021,816	1.2	-	-
諸収入	9,704,369	3.9	1,641,921	1.2
地方債	12,650,700	5.1	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	860,000	0.3	-	-
歳入合計	249,488,154	100.0	136,990,541	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	96,970,668	90.0	721,297	
法定普通税	96,970,668	90.0	721,297	
市町村民税	51,701,622	48.0	721,297	
個人均等割	1,060,440	1.0	-	
所得割	45,070,769	41.8	-	
法人均等割	1,656,998	1.5	-	
法人税割	3,913,415	3.6	721,297	
固定資産税	40,545,161	37.6	-	
うち純固定資産税	40,490,964	37.6	-	
軽自動車税	757,936	0.7	-	
市町村たばこ税	3,965,949	3.7	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	10,735,994	10.0	-	
法定目的税	10,735,994	10.0	-	
入湯税	3,401	0.0	-	
事業所税	2,227,571	2.1	-	
都市計画税	8,505,022	7.9	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	107,706,662	100.0	721,297	

区分	令和6年度	令和5年度
徴収率(%)	99.3	98.3
現計	99.1	97.5
市町村民税	99.1	97.6
純固定資産税	99.6	99.0

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	31,153,268	実質収支	156,441
下水道	7,589,900	再差引収支	-1,978,120
病院	2,041,896	加入世帯数(世帯)	72,010
宅地造成	322,500	被保険者数(人)	99,003
市場	300,600	被保険者	107
国民健康保険	5,301,530	保険料(料)収入額	3
その他	15,596,842	1人当り	325

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	951,923	0.4	-	951,827
総務費	19,360,976	8.0	423,115	15,472,526
民生費	120,613,571	49.6	1,971,581	64,406,474
衛生費	19,464,618	8.0	410,792	16,500,100
労働費	181,843	0.1	26,400	177,762
農林水産業費	532,062	0.2	129,739	433,444
商工費	4,676,184	1.9	5,282	1,609,129
土木費	20,374,965	8.4	7,045,380	14,075,233
消防費	7,478,487	3.1	760,660	6,819,195
教育費	30,649,843	12.6	6,698,088	20,037,015
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	19,039,177	7.8	-	19,036,384
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	243,323,649	100.0	17,471,037	159,519,089

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	139,222,715	57.2	85,101,061	76,947,122	55.8
人件費	43,439,784	17.9	38,897,231	38,612,700	28.0
うち職員給	24,723,841	10.2	22,164,593	-	-
扶助費	76,743,754	31.5	17,167,446	20,118,185	14.6
公債費	19,039,177	7.8	19,036,384	18,216,237	13.2
元利償還金	19,036,041	7.8	19,033,248	18,213,101	13.2
うち元金	18,442,483	7.6	18,439,690	17,619,543	12.8
うち利子	593,558	0.2	593,558	593,558	0.4
一時借入金利子	3,136	0.0	3,136	3,136	0.0
その他の経費	86,629,897	35.6	70,568,488	57,196,247	41.5
物件費	39,044,852	16.0	30,510,183	26,262,277	19.1
維持補修費	1,281,104	0.5	1,276,838	1,276,838	0.9
補助費等	19,229,053	7.9	17,916,597	13,443,552	9.8
うち一部事務組合負担金	466,934	0.2	466,934	398,228	0.3
繰出金	21,220,872	8.7	18,011,919	15,209,980	11.0
積立金	923,086	0.4	702,254	-	-
投資・出資金・貸付金	4,930,930	2.0	2,150,697	1,003,600	0.7
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	17,471,037	7.2	3,849,540	-	-
うち人件費	1,344,218	0.6	1,344,202	-	-
普通建設事業費	17,471,037	7.2	3,849,540	-	-
うち補助	3,018,090	1.2	96,938	-	-
うち単独	14,093,029	5.8	3,737,453	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	243,323,649	100.0	159,519,089	-	-

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 千葉県船橋市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	249,314	243,229	6,085	4,314	5,863	163,199	
2 公共用地先行取得事業特別会計	1,721	1,721	-	-	830	2,157	
3 母子父子寡母福祉資金貸付事業特別会計	171	92	79	6	1	256	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296				</			

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

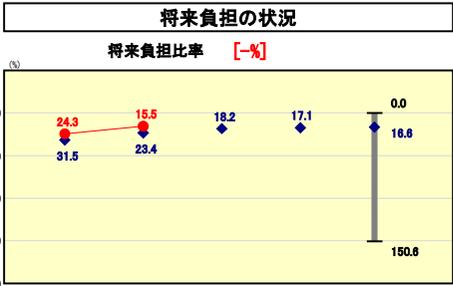
令和6年度

千葉県船橋市

人口	649,393	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	625,662	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	85.62	km ²	実質公債費比率	3.6	%
歳入総額	249,488,154	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	243,323,649	千円	市町村類型	R02 中核市 R03 中核市 R04 中核市	
実質収支	4,393,247	千円	(年度毎)	R05 中核市 R06 中核市	
標準財政規模	131,555,029	千円			
地方債現在高	165,088,254	千円			



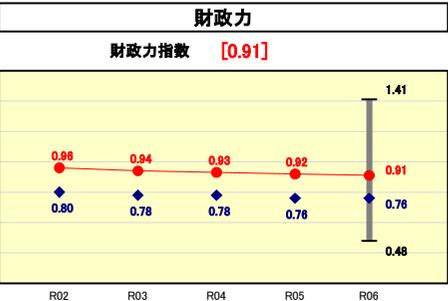
※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレズ指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。



類似団体内順位 1/62 全国平均 6.2 千葉県平均 25.2

将来負担比率の分析欄

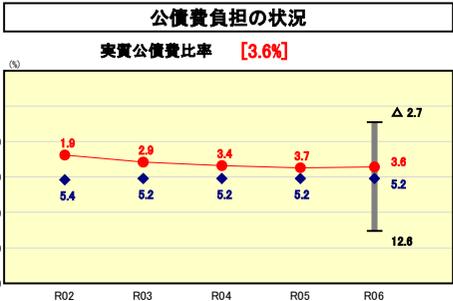
令和5年度に引き続き、地方債現在高等が減少したことにより、将来負担額が減少した。また、充当可能基金は、職員退職手当基金などを取り崩したことにより減少した。将来負担額と充当可能財源等とともに減少したが、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、将来負担比率は引き続きマイナスとなった。
 今後は医療センターの建て替えもあるため、公営企業債等繰入見込額は増加する見通しだが、同じく分子を構成する地方債現在高は令和6年度残高と同程度で推移する見込みとなっていること、また標準財政規模が増加していることから、プラスに転じたとしても大きな数値にはならないものと考えている。



類似団体内順位 9/62 全国平均 0.49 千葉県平均 0.69

財政力指数の分析欄

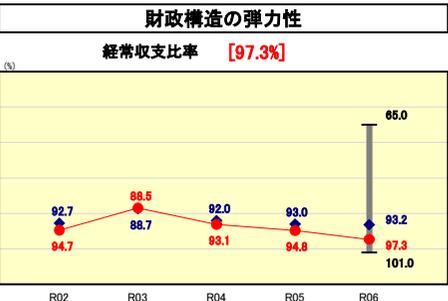
定額減税実施の影響により、個人住民税が大きく減少したが、その他の税収が増加し、市税全体としては若干の増となり、また、個人住民税の減収分も地方特例交付金として補てんされているため、収入は増加している。一方で物価・労務単価の上昇などによる需要の伸びが大きく、結果、財政力指数は減少となっている。
 依然として、類似団体平均よりは高い状況だが、本市として指数の減少が続いているため、引き続き、需要の増と収入の推移を注視し、適切な行財政運営を行うよう努める。



類似団体内順位 19/62 全国平均 5.6 千葉県平均 5.9

実質公債費比率の分析欄

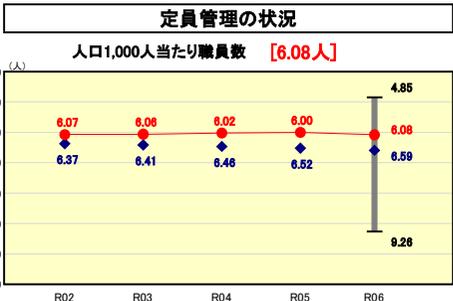
実質公債費比率は3.6%となっており、類似団体の5.2%を下回っている。しかし、これまでに取り組んできた老朽化施設の建て替えや改修、清掃工場の建て替え、小学校の新設等による市債の発行に加え、今後予定されている児童相談所の新設や学校の建て替えなどによる市債の発行も予定されていることから公債費の増加が見込まれているが、市税収入が伸びていることから、横ばいから微増で推移する見込みである。



類似団体内順位 53/62 全国平均 93.8 千葉県平均 94.1

経常収支比率の分析欄

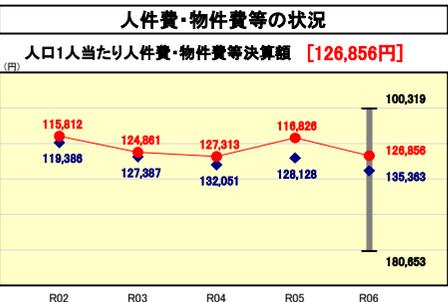
令和6年度は、人事院勧告に伴う給与改定、会計年度任用職員への勤労手当支給開始等、人件費が大幅に増加したこと、また、扶助費についても人事院勧告を反映させた公定価格の引上げに伴い保育所運営費が増加したことなどから、歳入の増加を上回り、令和5年度と比較して2.5ポイント高い97.3%となった。組織・人員の最適化など人件費の抑制に努めるとともに、さらに普通建設事業の実施にあたっては、地方交付税措置のある起債や公債費増高対応分の減債基金などの活用も行いながら、公債費負担の軽減及び平準化を図っていく。



類似団体内順位 17/62 全国平均 8.41 千葉県平均 7.56

人口1,000人当たり職員数の分析欄

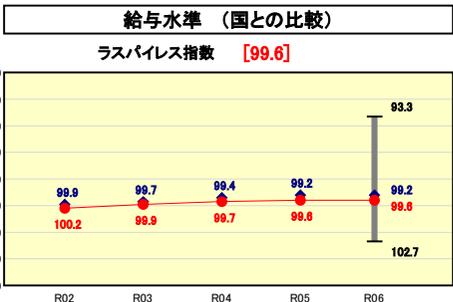
人口1,000人あたりの職員数は6.08人と、令和5年度の6.00人に比べ増加したものの、増加する行政需要に対して安易に職員数を増やすのではなく、既存の業務執行体制の見直しや民間委託の推進など、効率化を図ることで新たな行政需要に対応するための人員を生み出すことなどにより、類似団体の平均は下回っている状況である。
 今後、児童相談所の開設に向けて人員を確保していく必要があり、職員数の増加が見込まれるが、組織・人員の最適化をするなど、引き続き、本市の実情に応じた適正な定員管理に努めていく。



類似団体内順位 18/62 全国平均 169,281 千葉県平均 147,933

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

令和5年度と比較して、人件費が給与改定に伴い増加したことや、物件費が带状疱疹ワクチン任意予防接種の開始に伴い増加したこと等により、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は10,030円増加した。
 人件費及び物件費は類似団体と比較しても高く、本市の経常収支比率を悪化させる要因の一つになっているが、住民基本台帳人口が類似団体内1番目となっているため、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は類似団体の平均より低くなっている。



類似団体内順位 34/62 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4

ラスパイレズ指数の分析欄

船橋市の一般行政職に適用する給料表は、平成26年度に市独自の給料表の継止部分(国家公務員の俸給表の最高号給を超える部分)を廃止したことにより、国家公務員の俸給表と全く同じ構造となっている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

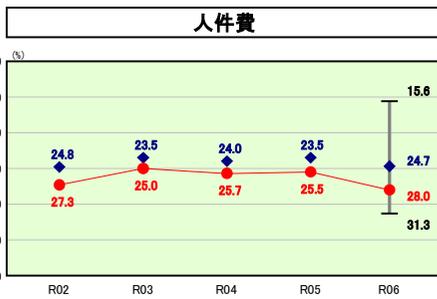
千葉県船橋市

経常収支比率の分析

人口	649,393	人(R7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	625,662	人(R7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	85.62	km ²	実収公債費比率	3.6	%
歳入総額	249,488,154	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	243,323,649	千円	市町村類型	R02 中核市 R03 中核市 R04 中核市	
実収収支	4,393,247	千円	(年度毎)	R05 中核市 R06 中核市	
標準財政規模	131,555,029	千円			
地方債現在高	165,088,254	千円			

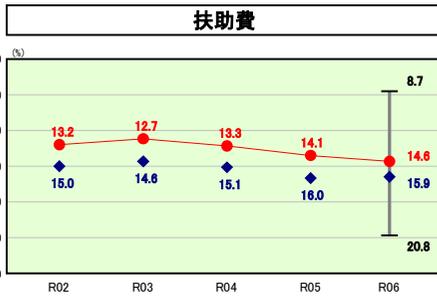


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



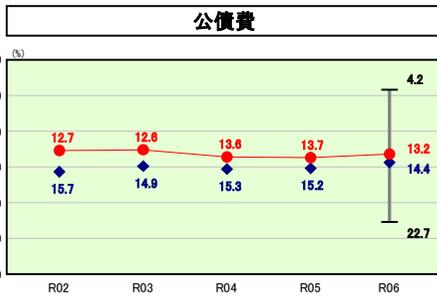
人件費の分析欄

人口1人当たり人件費決算額及び人口千人当たり職員数は類似団体に比べ低いものの、人件費の構成比が類似団体に比べ高い理由は、国の定める地域手当の支給率が12%と類似団体と比べて高い地域であること等が挙げられる。
 給料表の継足し部分の廃止等、市独自の制度について給与の適正化を図った後、人件費の経常収支比率は横ばい傾向にあるが、今後も引き続き人事院勧告に準拠し給与の適正化に努めていく。



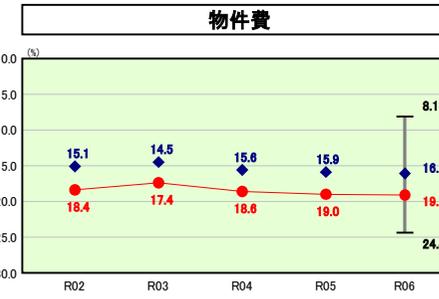
扶助費の分析欄

公定価格引き上げに伴う保育所運営費の増などに伴い令和5年度と比較して0.5ポイント上昇した。
 扶助費の性質上、今後も増加傾向であると思われるため、各種手当の見直しなどにより、適正化に努めていきたい。



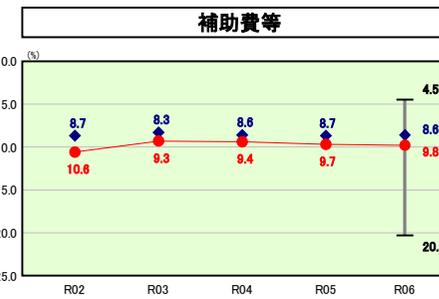
公債費の分析欄

公債費は増加したものの、分母である地方交付税・地方特例交付金など経常一般財源等が増加した結果、令和5年度と比較して0.5ポイント減少した。
 普通建設事業の精査・優先順位付けを行うなど、公債費負担の適正化に努めていきたい。



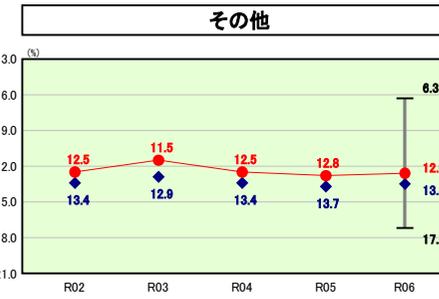
物件費の分析欄

食材料費の上昇に伴う小学校給食費が増加したことなどによって、令和5年度と比較して0.1ポイント上昇した。
 類似団体と比較して3.0ポイント上回っており、本市の経常収支比率を悪化させる要因となっている。
 扶助費や公債費とは異なり、事務事業の見直し等により一定程度の経費削減は可能であると考えられる。
 なお、全国平均と千葉県平均も3.2ポイント差があることから、地域的要素も考えられる。



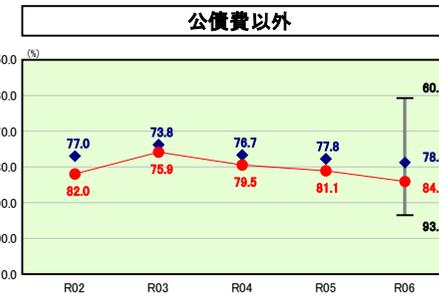
補助費等の分析欄

職員の処遇向上に要する費用の増に伴う保育所運営費補助金などが増加したことなどによって、令和5年度と比較して0.1ポイント上昇した。
 依然として類似団体平均を上回っている状況であり適正化に努めていく必要がある。



その他の分析欄

介護保険事業特別会計において、保険給付費及び地域支援事業費が増加したことなどにより、繰出金が増加した。一方で、公営企業の元金償還金の減少に伴う出資金が減ったことなどにより、前年度と比較して0.2ポイント下降した。
 税収を主な財源とする普通会計の負担を減らしていくため、より一層適正化に努めていく。

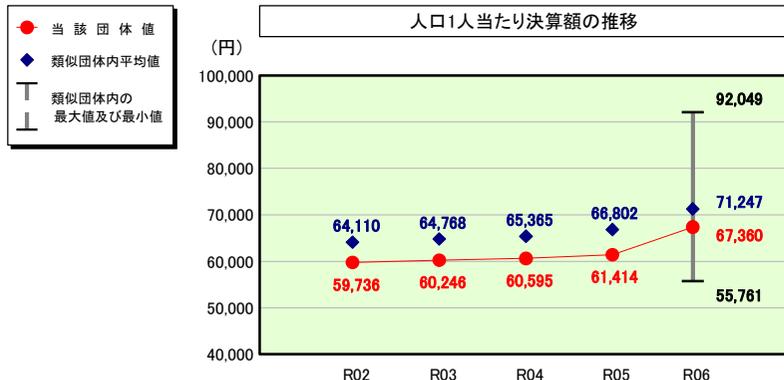


公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は人件費、物件費及び補助費等の影響により、類似団体平均より5.3ポイントも上回っている。
 公債費では類似団体の平均を下回っているため、本市の経常収支比率に悪影響を与えている人件費、物件費及び補助費等の経常一般財源の抑制に努め、経常収支比率の改善を図る。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	43,439,784	66,893	69,190	▲ 3.3
一部事務組合負担金(補助費等)	35,328	54	1,817	▲ 97.0
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	128,315	198	711	▲ 72.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	19	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	1,525,875	2,350	2,094	12.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	1,344,218	2,070	1,351	53.2
▲退職金	▲ 2,730,652	▲ 4,205	▲ 3,935	6.9
合計	43,742,868	67,360	71,247	▲ 5.5

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.08	6.59	▲ 0.51
ラスパイレス指数	99.6	99.2	0.4

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

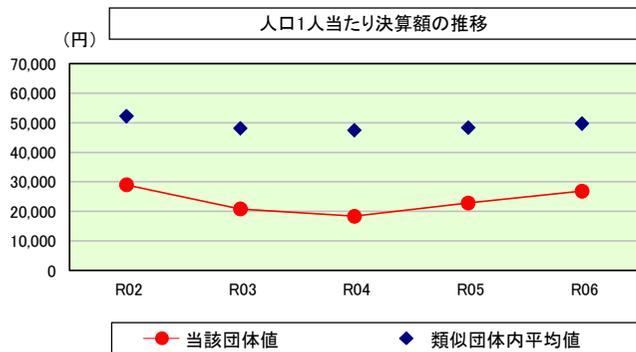
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	17,467,705	26,899	37,151	▲ 27.6
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	1	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	48	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,764,266	7,336	8,181	▲ 10.3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	274,181	422	473	▲ 10.8
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	18,956	29	499	▲ 94.2
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	-	-
▲特定財源の額	▲ 5,256,867	▲ 8,095	▲ 8,269	▲ 2.1
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 13,376,706	▲ 20,599	▲ 27,482	▲ 25.0
合計	3,891,535	5,993	10,602	▲ 43.5

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R02	18,708,736	29,007	▲ 26.8	52,191	0.7	▲ 27.5
うち単独分	10,465,800	16,227	▲ 8.5	26,807	1.8	▲ 10.3
R03	13,438,755	20,812	▲ 28.3	48,105	▲ 7.8	▲ 20.5
うち単独分	7,080,683	10,966	▲ 32.4	24,072	▲ 10.2	▲ 22.2
R04	11,876,507	18,355	▲ 11.8	47,446	▲ 1.4	▲ 10.4
うち単独分	7,883,840	12,185	11.1	24,371	1.2	9.9
R05	14,820,954	22,860	24.5	48,387	2.0	22.5
うち単独分	10,935,166	16,867	38.4	25,592	5.0	33.4
R06	17,471,037	26,904	17.7	49,684	2.7	15.0
うち単独分	14,093,029	21,702	28.7	28,303	10.6	18.1
過去5年間平均	15,263,198	23,588	▲ 4.9	49,163	▲ 0.8	▲ 4.1
うち単独分	10,091,704	15,589	7.5	25,829	1.7	5.8

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

千葉県船橋市

人口	649,393 人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	625,662 人(R7.1.1現在)	運輸実質赤字比率	-	%
面積	85.62 km ²	実質公債費比率	3.8	%
入替額	249,498,154 千円	特責負担比率	-	%
出替額	243,323,640 千円	市町村類型	R02 中核市 R03 中核市 R04 中核市	
実収支	4,393,247 千円	(年度毎)	R05 中核市 R06 中核市	
標準財政規模	131,555,029 千円			
地方債現在高	165,088,254 千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

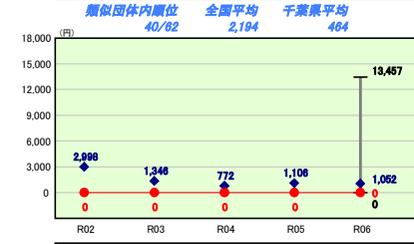
人件費



補助費等



災害復旧事業費



投資及び出資金



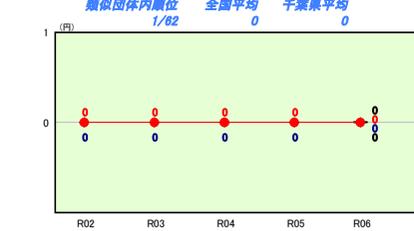
物件費



普通建設事業費



失業対策事業費



貸付金



維持補修費



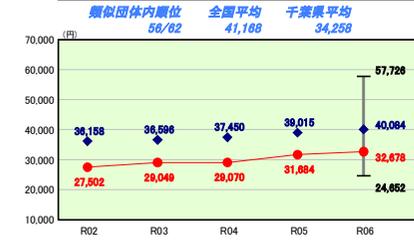
普通建設事業費(うち新規整備)



公債費



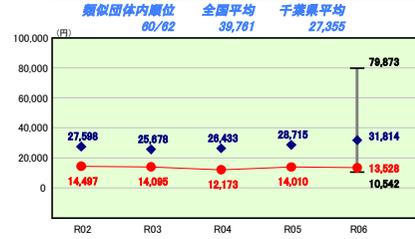
繰出金



扶助費



普通建設事業費(うち更新整備)



積立金



前年度繰上充用金



性質別歳出の分析

多くの項目で住民1人当たりの決算額が類似団体を下回っているのは、類似団体内人口が最多であることが要因であると考えられる。
 投資及び出資金については、令和4年度から公債費元金償還金の増に伴い下水道事業会計出資金が増加し、引き続き類似団体を上回っている。
 普通建設事業費(うち新規整備)については、小・中学校体育館への空調設置工事に伴い増加している。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

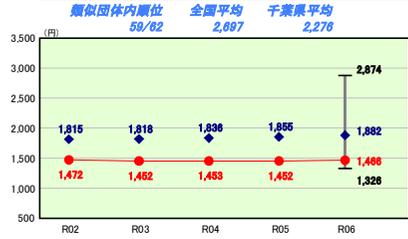
千葉県船橋市

人口	649,393 人 (R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	626,662 人 (R7.1.1現在)	運輸実質赤字比率	-	%
面積	85.62 km ²	実質公債費比率	3.8	%
入替額	249,498,154 千円	将来負担比率	-	%
出替額	243,323,640 千円	市町村類型	R02 中核市 R03 中核市 R04 中核市	
等収支	4,393,247 千円	(年度毎)	R05 中核市 R06 中核市	
実質支	131,555,029 千円			
標準財政規模	165,088,254 千円			
地方債現在高				

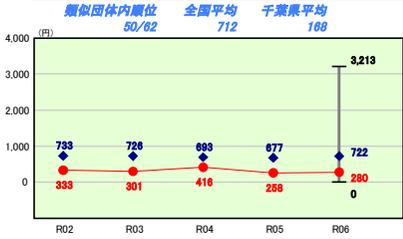
- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

議会費



労働費



消防費



諸支出金



総務費



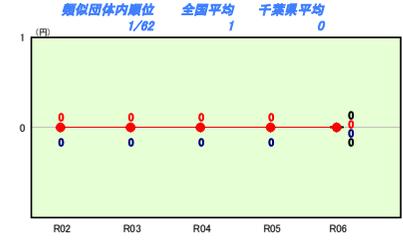
農林水産業費



教育費



前年度繰上充用金



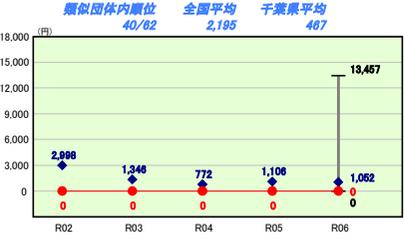
民生費



商工費



災害復旧費



衛生費



土木費



公債費



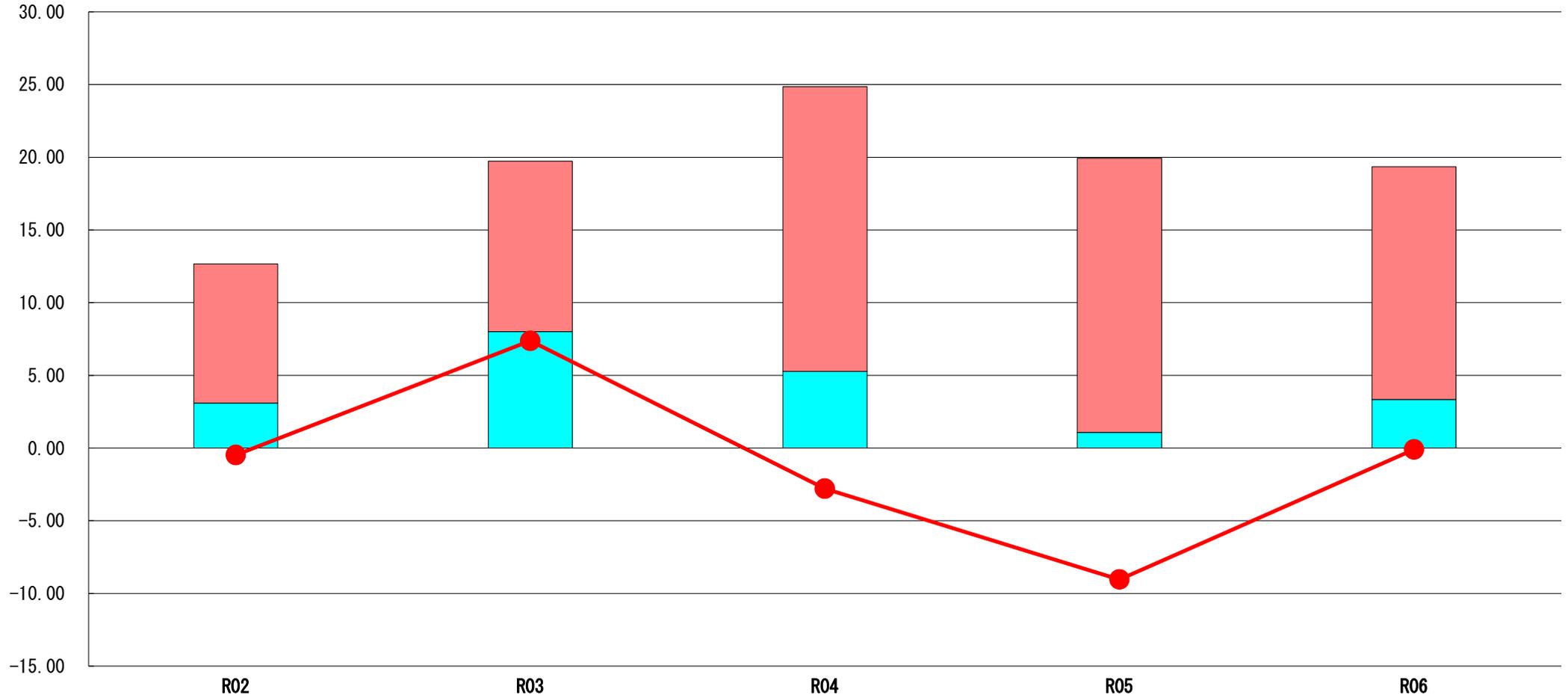
目的別歳出の分析概
 多くの項目で住民1人当たりの決算額が類似団体を下回っているのは、類似団体中人口が最多であることが要因であると考えられる。
 教育費について、小・中学校体育館に空調整備をすすめていることから、類似団体と比較し、大きく伸びた。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和6年度

千葉県船橋市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		9.57	11.72	19.57	18.86	16.01
 実質収支額		3.10	8.01	5.28	1.07	3.34
 実質単年度収支		▲ 0.48	7.37	▲ 2.79	▲ 9.04	▲ 0.10

分析欄

令和5年度の実質収支額が小さかったことから、今年度の単年度収支は黒字となっているが、財源調整基金から40億円を取り崩したことから、実質単年度収支はマイナスのままとなっている。

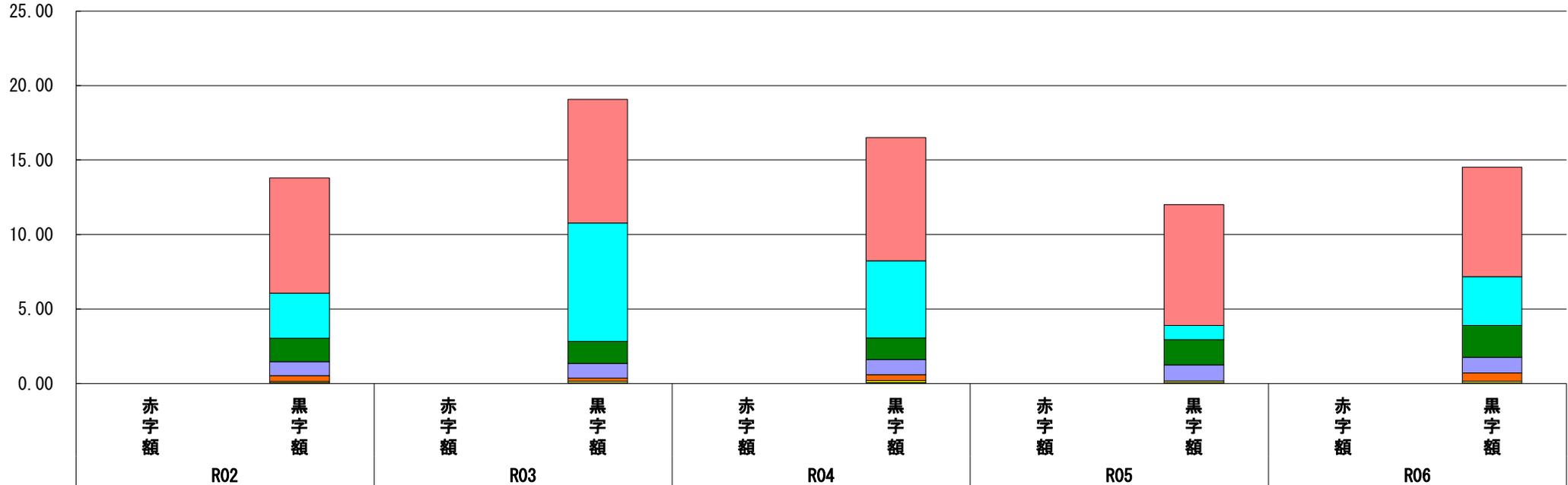
公共施設等の大規模修繕等、今後予想される財政需要に備え、堅実な財政運営に努めたい。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和6年度

千葉県船橋市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
病院事業会計		7.73	8.31	8.28	8.09	7.35
一般会計		3.03	7.93	5.18	0.96	3.27
下水道事業会計		1.58	1.48	1.45	1.69	2.13
地方卸売市場事業会計		0.93	0.99	1.01	1.09	1.05
介護保険事業特別会計		0.40	0.23	0.39	0.00	0.58
国民健康保険事業特別会計		0.10	0.11	0.15	0.12	0.11
後期高齢者医療事業特別会計		0.00	0.00	0.01	0.00	0.02
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計		0.02	0.02	0.04	0.04	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

分析欄

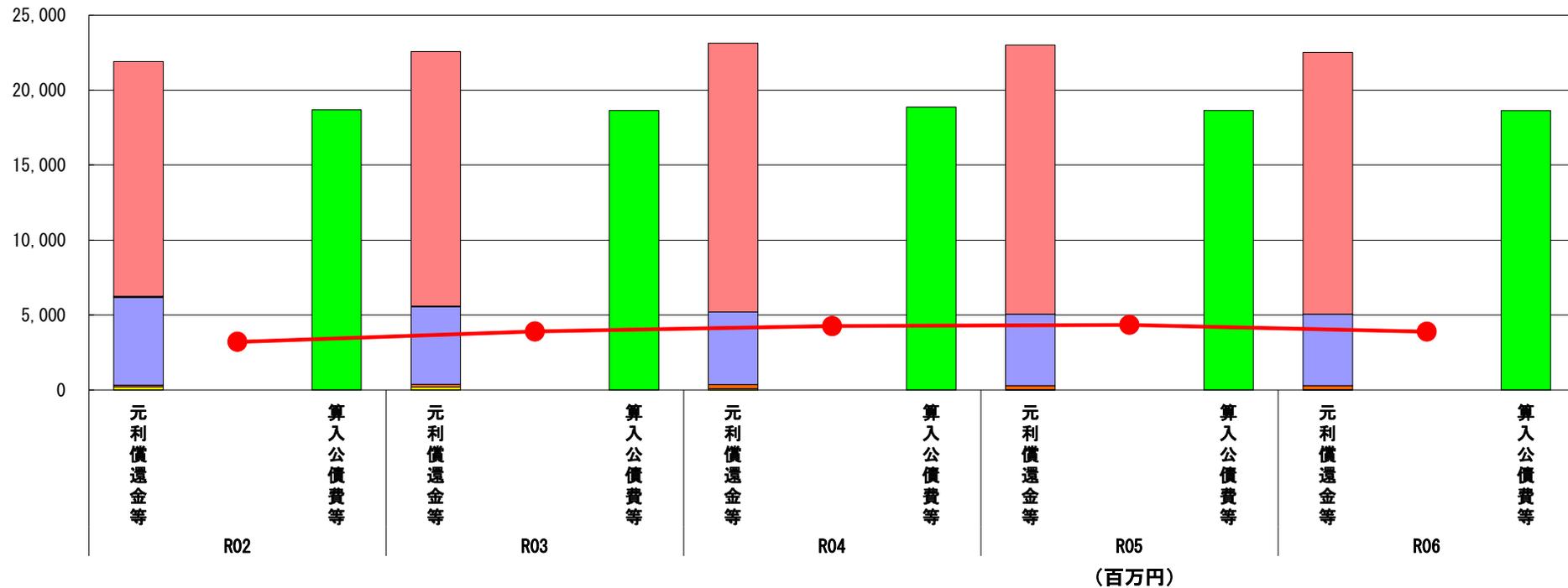
病院事業会計については、国の人事院勧告に準拠した給与の引き上げによる人件費の増加などにより、経常費用が増加し、令和6年度は経常損失を計上したことから、0.74ポイント減少している。また、一般会計については、市税や地方消費税交付金の収入額が予算額を上回り、引き続き安定した財政運営ができています。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県船橋市

(百万円)



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		15,661	16,956	17,919	17,943	17,468
	減債基金積立不足算定額※2		39	28	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		33	17	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		5,846	5,169	4,846	4,765	4,764
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		115	194	268	265	274
	債務負担行為に基づく支出額		208	196	97	19	19
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		18,688	18,657	18,867	18,651	18,634
(A) - (B)	● 実質公債費比率の分子		3,214	3,903	4,263	4,341	3,891

分析欄

元利償還金が475百万円減少したことが主な要因となり、実質公債費比率の分子も減少した。

実質公債費比率は3.6%となっており、類似団体の5.2%を下回っているが、これまでに取り組んできた老朽化施設の建替えや改修、清掃工場の建替え、小学校の新設等による市債の発行に加え、今後予定されている児童相談所の新設や学校の建替えなどによる市債の発行も予定されていることから公債費の増加が見込まれているが、市税収入が伸びていることから、横ばいから微増で推移する見込みで

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		83	83	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		61	44	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		117	67	-	-	-

分析欄

満期一括型市場公募債の発行は、平成28年度を最後に行っておらず、令和3年度ですべて償還完了となり、残高はなくなっている。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

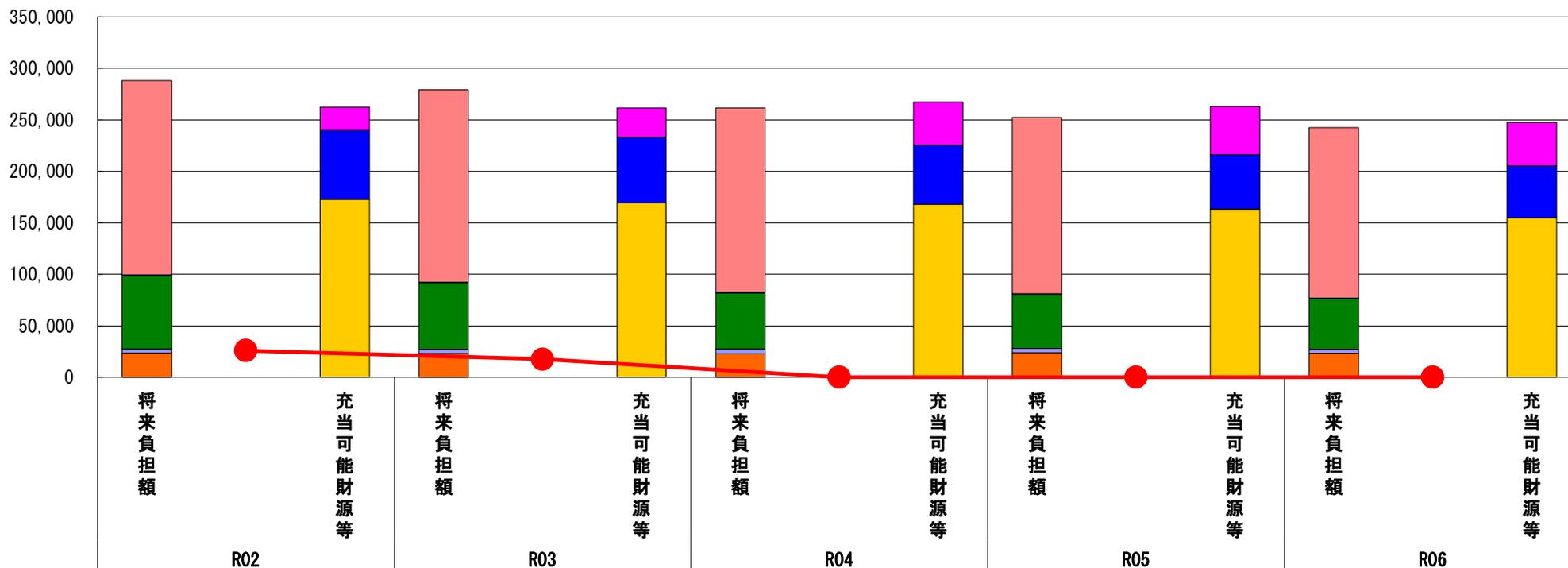
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県船橋市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		188,584	186,621	179,000	171,380	165,612
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,044	762	531	260	98
	公営企業債等繰入見込額		70,930	64,361	54,519	52,647	49,391
	組合等負担等見込額		4,061	4,104	4,558	4,305	4,042
	退職手当負担見込額		23,471	23,273	22,946	23,833	23,293
	設立法人等の負債額等負担見込額		39	30	31	52	27
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		22,609	28,828	41,995	46,813	42,257
	充当可能特定歳入		66,937	63,661	57,160	52,835	50,210
	基準財政需要額算入見込額		172,709	169,201	167,984	163,242	154,941
(A) - (B)	将来負担比率の分子		25,876	17,460	▲ 5,555	▲ 10,414	▲ 4,945

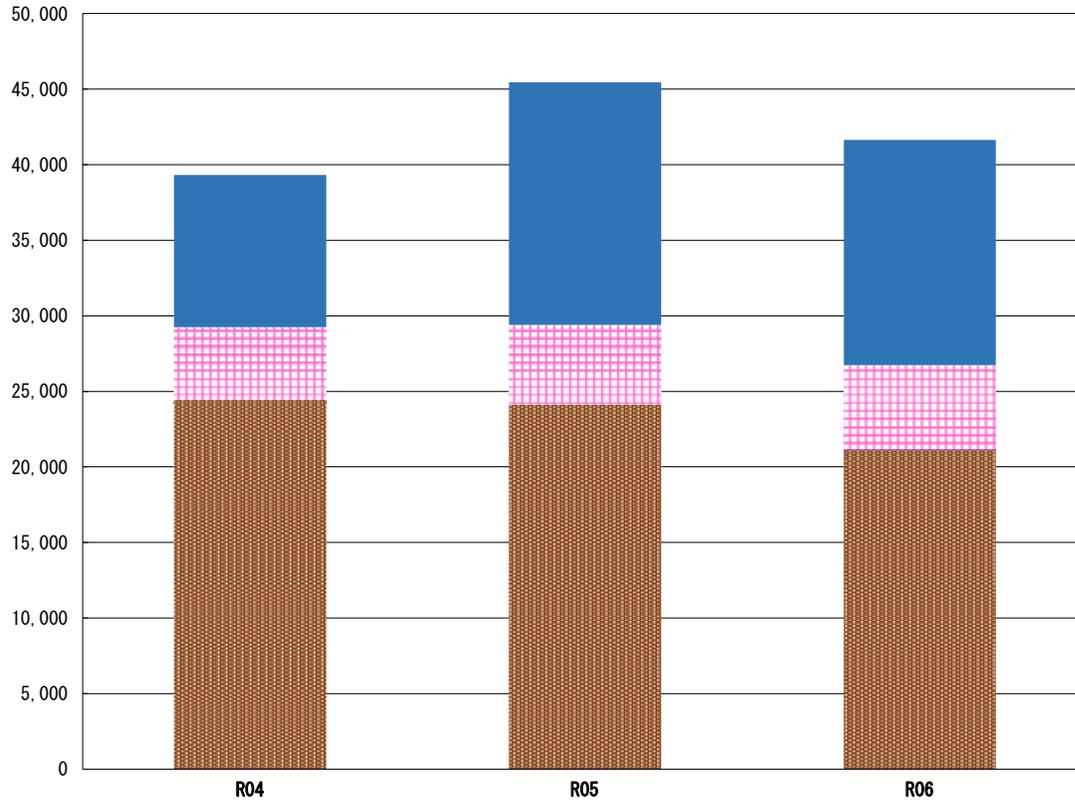
分析欄

令和5年度に引き続き、市債の元金償還が進み、地方債現在高等が減少したことにより、将来負担額が減少した。また、充当可能基金は、職員退職手当基金などを取り崩したことにより減少した。将来負担額と充当可能財源等はともに減少したが、充当可能財源等が将来負担額を上回ったため、将来負担比率は引き続きマイナスとなった。

今後、医療センターの建て替えもあり、公営企業債等繰入見込額が増加する見込みであることから、その他普通建設事業の精査・優先順位付けを行うなどにより、公債費負担の適正化に努め、堅実な財政運営を行う。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		24,442	24,113	21,068
減債基金		4,818	5,284	5,680
その他特定目的基金		10,047	16,051	14,887
公共施設保全等基金		7,029	7,137	7,203
医療センター整備基金		-	5,400	5,404
職員退職手当基金		1,306	2,023	910
公園緑地整備基金		795	638	494
文化振興基金		423	416	408
基金残高合計		39,307	45,448	41,636

令和6年度

千葉県船橋市

基金全体

(増減理由)

財源調整基金については決算剰余金積立額が前年度と比較し減少したこと、退職手当基金については、定年延長にかかる退職手当の負担平準化のため取崩基準額を定めているが、退職手当の支出見込額が取崩基準額を上回ったことから約11億円を取り崩したこと等により、基金全体では約38億円の減となった。

(今後の方針)

今後も必要に応じて積立てや取崩しを行っていく予定。

財政調整基金

(増減理由)

令和6年度の取崩し額は40億円と前年度と比較し減少した一方、令和5年度決算剰余金の積立額が減少したことにより減少した。

(今後の方針)

将来の財源不足に備え、適切に積立てと取崩しを行っていく。

減債基金

(増減理由)

普通交付税の追加交付分のうち、臨時財政対策債償還基金費算定額を積立てたことにより約3.9億円の増となった。

(今後の方針)

新規起債の抑制などにより、将来の公債費増に備える。

その他特定目的基金

(基金の使途)

<ul style="list-style-type: none"> 公共施設保全等基金 医療センター整備基金 職員退職手当基金 公園緑地整備基金 文化振興基金 	公共施設の計画的な保全及び更新 医療センターの建て替えに必要な経費に掛かる負担金 職員の退職手当 公園の整備、緑の保全、緑化の推進 市内の小学校、中学校、特別支援学校、市立高校にアーティスト等を派遣し、次代の文化の担い手となる子供たちに音楽や演劇等の鑑賞・体験機会を提供 運用収入を用いて地域福祉の増進に資するための活動の推進 森林の整備、森林の整備を担うべき人材の育成、木材の利用促進等
<ul style="list-style-type: none"> 福祉基金 森林環境譲与税基金 一般廃棄物処理施設等整備基金 	一般廃棄物の処理施設等の整備
<p>(増減理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員退職手当基金 	定年延長にかかる退職手当の負担平準化のため取崩基準額を定めているが、支出見込額が取崩基準額を上回ったことから約11億円を取り崩したことにより減少した。
<p>(今後の方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設保全等基金 医療センター整備基金 職員退職手当基金 	公共施設の計画的な保全及び更新に必要な経費に充てる。 医療センターの建て替えに伴う建設改良費及び企業債の元利償還金に係る負担金に充てる。 定年延長に係る年度間の退職手当の増減を調整するためのものとし、定年に係る退職手当のみを対象として取崩し・積立を行うこととする。
<ul style="list-style-type: none"> 公園緑地整備基金 文化振興基金 福祉基金 森林環境譲与税基金 	おおむね現在の基金規模を維持していく。 寄付者の意向に沿う形で、次代の文化の担い手となる子供たちに音楽や演劇等の鑑賞・体験機会を提供していく。 積立取崩しの予定はなく、今後も運用収入を用いて地域福祉の増進を目的とした活動を行う。 充当事業に優先順位を設け、森林の整備、森林の整備を担うべき人材の育成、木材の利用促進等のため取り崩す。